

みんなで守ろう岐阜市の自然

岐阜市自然ふれあい地域ビジョン策定ワークショップ 第30号 平成18年11月発行

はじめに

岐阜市には、金華山、長良川をはじめとした誇るべき自然環境が多くあります。その一方、生活環境の変化、生活基盤を支える様々な整備により、貴重な自然環境が減少しているのもまた事実です。このような状況の中、現在ある岐阜市の貴重な自然環境を、次世代に残し伝えることが、私たちの役割です。

そのための第一歩として「**岐阜市自然ふれあい地域ビジョン**」策定に取り組みます！！



山県北野地域 三輪中学校環境学習

(10月20日、27日)

- ・石田川調査と三輪の里山散策(10月20日)
- ・樹木を使ってのこぎり実習(10月27日)

石田川調査と三輪の里山散策

10月20日(金)に、三輪中学校3年生 石田川学習グループと里山学習グループが散策、調査などの活動を行いました。

石田川学習グループでは、石田川のどのあたりにどのような魚類や昆虫が生息しているのか、河川の環境を確認しながら、捕獲される生物の違いを見ていきました。石田川の特徴でいえば、「川の両岸に植物が生い茂る水際が確保されていること」と「川底に良質の砂が広がっていること」があげられます。そのような良好な環境が残されているから、二枚貝に産卵するタナゴの仲間をはじめ、多種多様な魚類のほか、ミスカマキリやイシガメなど多くの生き物を確認しました。



石田川で水生生物調査を実施



いろいろな魚や二枚貝、ミスカマキリなども捕まえました



石田川にはちゃんとイシガメもいます!



三輪の里山の現状を 観察しました

里山学習グループでは、三輪に広がる雑木林、スギ・ヒノキ人工林、竹林、湿地となった棚田跡などを散策しながら、その特徴や、現在の状況となった経過などについて解説を行いました。昔は、人々の生活に里山の存在は必要不可欠でした。しかし、薪や炭からエネルギーをもらう生活から、石油や石炭などの化石燃料

からエネルギーをもらう生活に

変わったことで、人と里山の距離が遠くなっていきました。また、スギやヒノキの人工林も、本来は木材生産のために管理されていた林ですが、木材価格の低迷等により、今は十分な管理がなされていません。このような里山の現状を生徒達はどのように感じたのでしょうか。



樹木を使ってのこぎり実習

10月27日には、実際に山に入って里山の手入れをする前の準備として、実際にのこぎりを使って、樹木を切る実習を行いました。

最近の子ども達は、ほとんどが山で木を切ったり遊んだりした経験がない状況ですが、三輪中学校の生徒の三人に一人は、山で遊んだ経験を持っていましたし、木を切った経験がある生徒も数名いました。さて、そのような生徒たちですが、実際にのこぎりを使って樹木を切るのは、頭で考えている以上に難しいようで、なかなか上手くいかないようです。余分なところに力が入って、筋肉が疲れると感想を漏らしていました。冬には、実際に山に入って里山整備に取りかかります。その時までには、上手くのこぎりが使えるようになっていければ良いのですが・・・



苦勞しつつも何とかのこぎりで切っていました。

おわりに

三輪中学校3年生の皆さんは、調査・散策を通して、あらためて自分たちの故郷がいかに豊かな自然に恵まれているのか、そして今どんな状況となっているのか理解できたのではないのでしょうか。今度はその自然に恩返しをする時です。さて、どんな里山整備になるのでしょうか！

自然ふれあい地域ビジョンに関する問い合わせ

岐阜市 人・自然共生部 みどり自然室 担当：吉村

TEL：058-265-4141 FAX：058-267-1374

E-mail：midori@city.gifu.gifu.jp

みどり自然室 HP アドレス：http://www.city.gifu.gifu.jp/splash/midori/index.html